Deploy ユーティリティ

ONTAP Select

NetApp
November 09, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/ontap-select-9191/task_cli_upgrade_deploy.html on November 09, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

Deploy ユーティリティ . . . 1
- ONTAP Select Deployインスタンスをアップグレードする . . . 1
  - ステップ1：アップグレードパッケージをダウンロードする . . . 1
  - ステップ2：パッケージをONTAP Select Deploy仮想マシンにアップロードする . . . 1
  - ステップ3：アップグレードパッケージを適用する . . . 2
- ONTAP Select Deployインスタンスを新しい仮想マシンに移行する . . . 2
  - ステップ1：Deploy構成データをバックアップする . . . 3
  - ステップ2：Deploy仮想マシンの新しいインスタンスをインストールします . . . 3
  - ステップ3：Deploy構成データを新しい仮想マシンにリストアする . . . 4
- ONTAP SelectイメージをDeployに追加 . . . 5
  - ステップ1：インストールイメージをダウンロードする . . . 5
  - ステップ2：インストールイメージをDeployにアップロードする . . . 5
  - ステップ3：インストールイメージを追加する . . . 6
  - ステップ4：利用可能なインストールイメージを表示する . . . 6
- DeployからONTAP Selectイメージを削除 . . . 7
- 2ノードクラスタのONTAP Select Deployユーティリティをリカバリする . . . 8
  - Deployユーティリティをリカバリする準備をします . . . 8
  - 構成バックアップを使用してDeployユーティリティインスタンスをリストアする . . . 9
  - Deployユーティリティインスタンスを再構成して復旧する . . . 10

Deploy ユーティリティ

ONTAP Select Deployインスタンスをアップグレードする

ONTAP Select Deploy ユーティリティ CLI を使用して、既存の ONTAP Select Deploy ユーティリティ仮想マシンをインプレースでアップグレードします。

ONTAP Select Deploy 9.18.1または9.17.1からONTAP Select Deploy 9.19.1に直接アップグレードできます。たとえば、ONTAP Select Deploy 9.16.1などの以前のリリースからアップグレードするには、まずONTAP Select Deploy 9.17.1または9.18.1にアップグレードしてから、ONTAP Select Deploy 9.19.1にアップグレードする必要があります。

> ONTAP Select Deploy管理ユーティリティの古いインスタンスがインストールされている場合は、最新リリースにアップグレードする必要があります。ONTAP SelectノードとONTAP Select Deployコンポーネントは個別にアップグレードします。詳細については、"ONTAP Select ノードをアップグレードする"を参照してください。

開始する前に

アップグレード中にONTAP Select Deployが他のタスクの実行に使用されていないことを確認します。

ステップ1：アップグレードパッケージをダウンロードする

アップグレードプロセスを開始するには、NetApp Support SiteからONTAP Select Deployアップグレードファイルをダウンロードします。アップグレードパッケージは、単一の圧縮ファイルとしてフォーマットされます。

手順

1. "NetApp Support Site ダウンロード"ページにアクセスします。
2. 下にスクロールして*ONTAP Select Deploy*を選択してください。
3. 希望する ONTAP Select バージョンを選択してください。
4. エンドユーザー使用許諾契約（EULA）を確認し、*Accept & Continue*を選択してください。
5. 適切な*ONTAP Select Deploy Upgrade*パッケージを選択してダウンロードします。必要に応じてすべてのプロンプトに応答します。

ステップ2：パッケージをONTAP Select Deploy仮想マシンにアップロードする

パッケージをダウンロードしたら、ONTAP Select Deploy仮想マシンにファイルをアップロードする必要があります。

タスク概要

このタスクでは、ONTAP Select Deploy仮想マシンにファイルをアップロードする1つの方法について説明します。ご使用の環境により適した他のオプションがある可能性があります。

開始する前に

- アップグレード ファイルがローカル ワークステーションで使用可能であることを確認します。

- 管理者ユーザーアカウントのパスワードがあることを確認します。

手順

ローカルワークステーションのコマンドシェルで、 `scp`（Secure Copy Protocol）ユーティリティを使用して、次の例に示すように、画像ファイルをONTAP Select Deploy仮想マシンにアップロードします：

```
scp ONTAPdeploy2.12_upgrade.tar.gz admin@10.228.162.221:/home/admin
(provide password when prompted)
```

結果

アップグレードファイルは、admin ユーザーのホームディレクトリに保存されます。

ステップ3：アップグレードパッケージを適用する

アップグレードファイルをONTAP Select Deploy仮想マシンにアップロードした後、アップグレードを適用できます。

開始する前に

- ONTAP Select Deploy ユーティリティ仮想マシンで、アップグレードファイルが配置されているディレクトリを確認します。
- アップグレードの実行中は、ONTAP Select Deployが他のタスクの実行に使用されていないことを確認してください。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、SSHでONTAP Select DeployユーティリティCLIにサインインします。
2. 適切なディレクトリパスとファイル名を使用してアップグレードを実行します：

   ```
   deploy upgrade -package-path <file_path>
   ```

   コマンド例：

   ```
   deploy upgrade -package-path /home/admin/ONTAPdeploy2.12_upgrade.tar.gz
   ```

終了後の操作

アップグレード手順が完了する前に、ONTAP Select Deploy仮想マシン構成のバックアップを作成するように求められます。また、新しく作成されたONTAP Select Deployページを表示するには、ブラウザのキャッシュをクリアする必要があります。

ONTAP Select Deployインスタンスを新しい仮想マシンに移行する

コマンドラインインターフェイスを使用して、既存のDeploy管理ユーティリティのインスタンスを新しい仮想マシンに移行できます。

この手順は、元の仮想マシンの構成データを使用する新しい仮想マシンを作成することに基づいています。新規仮想マシンと既存仮想マシンは、同じバージョンおよびリリースのDeployユーティリティを実行する必要があります。Deployユーティリティの別のバージョンやリリースに移行することはできません。

ステップ1：Deploy構成データをバックアップする

仮想マシンの移行の一環として、デプロイ構成データのバックアップを作成する必要があります。ONTAP Selectクラスタの導入後にもバックアップを作成する必要があります。データは暗号化された単一のファイルに保存され、ローカルワークステーションにダウンロードできます。

開始する前に

- バックアップ操作中に Deploy が他のタスクを実行していないことを確認してください。
- 元のDeploy仮想マシンイメージを保存します。

> 元のDeploy仮想マシンイメージは、この手順の後半で、元の仮想マシンから新しい仮想マシンにDeploy構成データを復元する際に必要になります。

タスク概要

作成するバックアップファイルには、仮想マシンのすべての構成データが保存されます。このデータは、ONTAP Selectクラスタを含む、導入環境の側面を記述しています。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、SSH経由でデプロイユーティリティのCLIにサインインします。
2. Deploy サーバーの内部ディレクトリに保存されている Deploy 構成データのバックアップを作成します：

```
deploy backup create
```

3. プロンプトが表示されたら、バックアップ用のパスワードを入力してください。

   バックアップファイルはパスワードに基づいて暗号化されます。

4. システムで使用可能なバックアップを表示します：

```
deploy backup show -detailed
```

5. **Created** フィールドの日付に基づいてバックアップファイルを選択し、 **Download URL** の値を記録します。

   バックアップファイルには、URLからアクセスできます。

6. ウェブブラウザまたはCurlなどのユーティリティを使用して、URLからバックアップファイルをローカルワークステーションにダウンロードしてください。

ステップ2：Deploy仮想マシンの新しいインスタンスをインストールします

Deploy 仮想マシンの新しいインスタンスを作成し、元の仮想マシンの構成データで更新する必要がありま

す。

開始する前に

VMware環境でONTAP Select Deploy仮想マシンをダウンロードして導入するために使用される手順に精通している必要があります。

タスク概要

このタスクは概要レベルで説明されています。

手順

1. Deploy仮想マシンの新しいインスタンスを作成します：
   a. 仮想マシンイメージをダウンロードします。
   b. 仮想マシンを導入し、ネットワークインターフェイスを設定します。
   c. SSH を使用して Deploy ユーティリティにアクセスします。

関連情報

"ONTAP Select Deployのインストール"

ステップ3：Deploy構成データを新しい仮想マシンにリストアする

元の Deploy ユーティリティ仮想マシンから新しい仮想マシンに構成データを復元する必要があります。データは単一のファイルに格納されているため、ローカルワークステーションからアップロードする必要があります。

開始する前に

以前のバックアップから構成データを取得する必要があります。データは単一のファイルに格納されており、ローカルワークステーション上に存在している必要があります。

手順

1. ローカルワークステーションのコマンドシェルで、次の例に示すように、sftpユーティリティを使用してバックアップファイルをDeploy仮想マシンにアップロードします：

```
sftp admin@10.234.81.101 (provide password when prompted)
put deploy_backup_20190601162151.tar.gz
exit
```

2. 管理者アカウントを使用して、SSH経由でデプロイユーティリティのCLIにサインインします。
3. 設定データを復元する：

```
deploy backup restore -path <path_name> -filename <file_name>
```

コマンド例：

```
deploy backup restore -path /home/admin -filename
deploy_backup_20180601162151.tar.gz
```

ONTAP SelectイメージをDeployに追加

ONTAP Select イメージを Deploy 管理ユーティリティのインスタンスに追加します。イメージをインストールしたら、 ONTAP Select クラスタの導入時に使用できます。

開始する前に

新しいONTAP Selectイメージをデプロイに追加する前に、まず不要なイメージを削除する必要があります。

> 追加するONTAP Selectイメージのバージョンは、お使いのDeployユーティリティのインスタンスに付属しているオリジナルバージョンよりも古いバージョンのみにしてください。NetAppから入手可能になった新しいバージョンのONTAP Selectを追加することは、サポートされていない構成です。

ステップ1：インストールイメージをダウンロードする

DeployユーティリティのインスタンスにONTAP Selectイメージを追加するプロセスを開始するには、NetApp Support Siteからインストールイメージをダウンロードする必要があります。ONTAP Selectのインストールイメージは、単一の圧縮ファイルとしてフォーマットされています。

手順

1. "NetApp Support Site ダウンロード"ページにアクセスします。
2. 下にスクロールして、* ONTAP Select Image *を選択します。
3. インストールイメージの目的のリリースを選択します。
4. エンドユーザー使用許諾契約（EULA）を確認し、*Accept & Continue*を選択してください。
5. 適切な*ONTAP Select Image Install*パッケージを選択してダウンロードしてください。必要に応じてすべてのプロンプトに応答します。

ステップ2：インストールイメージをDeployにアップロードする

ONTAP Selectインストールイメージを取得したら、ファイルをDeploy仮想マシンにアップロードする必要があります。

開始する前に

ローカルワークステーションにインストールイメージファイルがあることを確認します。Deploy 管理者ユーザー アカウントのパスワードも必要です。

タスク概要

このタスクでは、ファイルをDeploy仮想マシンにアップロードする1つの方法について説明します。環境によっては、他にも適した方法がある場合があります。

手順

1. ローカル ワークステーションのコマンド シェルで、次の例に示すように、イメージ ファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードします：

```
scp image_v_93_install_esx.tgz admin@10.234.81.101:/home/admin (provide
```

```
password when prompted)
```

```
sftp admin@10.234.81.101 (provide password when prompted)
put image_v_93_install_esx.tgz
exit
```

結果

ノードのインストールファイルは、adminユーザーのホームディレクトリに保存されます。

ステップ3：インストールイメージを追加する

新しいクラスタを導入する際に使用できるように、ONTAP Select インストールイメージを Deploy images ディレクトリに追加します。

開始する前に

Deployユーティリティ仮想マシンで、インストールイメージファイルがどのディレクトリに配置されているかを把握しておく必要があります。ファイルは管理者のホームディレクトリにあるものと想定されます。

手順

1. 管理者（admin）アカウントを使用して、SSH経由でデプロイユーティリティのCLIにサインインします。
2. Bashシェルを起動します：

```
shell bash
```

3. 次の例に示すように、インストールイメージファイルを images ディレクトリに配置します：

```
tar -xf image_v_93_install_esx.tgz -C /opt/netapp/images/
```

ステップ4：利用可能なインストールイメージを表示する

新しいクラスタを導入する際に使用可能な ONTAP Select イメージを表示します。

手順

1. Deployユーティリティ仮想マシン上のオンラインドキュメントWebページにアクセスし、管理者（admin）アカウントを使用してサインインしてください：

```
http://<FQDN|IP_ADDRESS>/api/ui
```

Deploy仮想マシンのドメイン名またはIPアドレスを使用します。

2. ページの下部に移動して **Deploy** を選択し、次に **GET /images** を選択します。
3. *試してみる！*を選択すると、利用可能なONTAP Selectイメージが表示されます。
4. 目的の画像が利用可能であることを確認してください。

DeployからONTAP Selectイメージを削除

不要になったONTAP Selectイメージは、Deploy管理ユーティリティのインスタンスから削除できます。

クラスタで使用されているONTAP Selectイメージは削除しないでください。

タスク概要

現在クラスタで使用されていない、または将来のクラスタ展開で使用する予定のない古い ONTAP Select イメージを削除できます。

手順

1. 管理者（admin）アカウントを使用して、SSH経由でデプロイユーティリティのCLIにサインインします。
2. Deployで管理されているクラスタを表示し、使用中のONTAPイメージを記録します。

```
cluster show
```

各ケースのバージョン番号とハイパーバイザープラットフォームをメモします。

3. Bashシェルを起動します：

```
shell bash
```

4. 利用可能なすべてのONTAP Selectイメージを表示します：

```
ls -lh /opt/netapp/images
```

5. 必要に応じて、ハイパーバイザー ホストから ONTAP Select イメージを削除します。

ESXiの例

```
rm -r /opt/netapp/images/DataONTAPv-9.3RC1-vidconsole-esx.ova
```

KVMの例

```
rm -r /opt/netapp/images/DataONTAPv-9.3RC1-serialconsole-kvm.raw.tar
```

2ノードクラスタのONTAP Select Deployユーティリティをリカバリする

ONTAP Select Deployユーティリティが何らかの理由で障害が発生したり使用できなくなったりすると、ONTAP Selectノードとクラスタを管理する機能が失われます。さらに、Deployに含まれるメディエーターサービスが使用できないため、すべての2ノードクラスタはHA機能を失います。回復不能な障害が発生した場合は、管理機能とHA機能を復元するために、Deployユーティリティインスタンスをリカバリする必要があります。

Deployユーティリティをリカバリする準備をします

Deployユーティリティのインスタンスのリカバリを試みる前に、成功を確実にするための準備が必要です。いくつかの管理手順に精通し、必要な情報を持っている必要があります。

手順

1. ハイパーバイザー環境にONTAP Select Deployユーティリティの新しいインスタンスをインストールできることを確認してください。

   "ONTAP Select Deployユーティリティのインストールについて学ぶ"

2. ONTAP Selectクラスタにログインし、ONTAPクラスタシェル（CLI）にアクセスできることを確認してください。
3. ONTAP Select 2ノードクラスタを含む、障害が発生したDeployユーティリティインスタンスからの構成データのバックアップがあるかどうかを確認します。クラスタを含まないバックアップがある可能性があります。
4. 使用するリカバリ手順に応じて、Deploy構成データのバックアップをリストアできることを確認します。

   "Deploy構成データを新しい仮想マシンにリストアする方法について説明します"

5. 障害が発生した元のDeployユーティリティ仮想マシンのIPアドレスを確認しておきます。
6. Capacity PoolsライセンスとCapacity Tiersライセンスのどちらが使用されているかを判断します。Capacity Poolsライセンスを使用している場合は、Deployインスタンスの復旧または復元後に、各Capacity Poolsライセンスを再インストールする必要があります。
7. ONTAP Select Deployユーティリティのインスタンスをリカバリする際に使用する手順を決定します。ONTAP Select 2ノードクラスタを含む、障害が発生した元のDeployユーティリティからの設定データのバックアップがあるかどうかに基づいて判断します。

2ノードクラスタを含む**Deploy**バックアップはありますか？	リカバリ手順を使用してください…
はい	構成バックアップを使用してDeployユーティリティインスタンスをリストアする
×	Deployユーティリティインスタンスを再構成して復旧する

構成バックアップを使用して**Deploy**ユーティリティインスタンスをリストアする

2ノードクラスタを含む障害が発生したDeployユーティリティインスタンスのバックアップがある場合は、構成データを新しいDeploy仮想マシンインスタンスにリストアできます。次に、ONTAP Selectクラスタ内の2つのノードの追加設定を実行してリカバリを完了する必要があります。

開始する前に

2ノードクラスタを含む、障害が発生した元のDeploy仮想マシンから構成データをバックアップします。2ノードクラスタのONTAP CLIにサインインでき、2つのノードのONTAP名を把握している必要があります。

タスク概要

復元する構成バックアップには2ノードクラスタが含まれているため、メディエーターiSCSIターゲットとメールボックスは、新しいDeployユーティリティ仮想マシン内に再作成されます。

手順

1. ONTAP Select Deployユーティリティの新しいインスタンスを準備します：
   a. 新しいDeployユーティリティ仮想マシンをインストールします。
   b. 以前のバックアップから新しい仮想マシンにDeploy構成をリストアします。

      インストールおよびリストア手順の詳細については、関連タスクを参照してください。
2. ONTAP Select 2ノードクラスタのONTAPコマンドラインインターフェイスにサインインします。
3. advanced権限モードに切り替えます。

```
set adv
```

4. 新しいDeploy仮想マシンのIPアドレスが元のDeploy仮想マシンのIPアドレスと異なる場合は、古いメディエーターiSCSIターゲットを削除し、新しいターゲットを追加します：

```
storage iscsi-initiator remove-target -node * -target-type mailbox
```

```
storage iscsi-initiator add-target -node <node1_name> -label mediator
-target-type mailbox -target-portal <ip_address> -target-name <target>
```

```
storage iscsi-initiator add-target -node <node2_name> -label mediator
-target-type mailbox -target-portal <ip_address> -target-name <target>
```

`<ip_address>`パラメータは、新しいDeploy仮想マシンのIPアドレスです。

これらのコマンドにより、ONTAP Selectノードは新しいDeployユーティリティ仮想マシン上のメールボックスディスクを検出できます。

5. メディエーターディスクの名前を特定します：

```
disk show -container-type mediator
```

6. メールボックスディスクを2つのノードに割り当てます。

```
disk assign -disk <mediator-disk1-name> -owner <node1-name>

disk assign -disk <mediator-disk2-name> -owner <node2-name>
```

7. ストレージ フェイルオーバーが有効になっていることを確認します。

```
storage failover show
```

終了後の操作

Capacity Poolsライセンスを使用している場合は、各Capacity Poolライセンスを再インストールしてください。詳細については、"容量プールライセンスを再インストールする"を参照してください。

Deployユーティリティインスタンスを再構成して復旧する

2ノードクラスタを含む障害が発生したDeployユーティリティインスタンスのバックアップがない場合は、新しいDeploy仮想マシンでメディエータiSCSIターゲットとメールボックスを設定します。次に、ONTAP Selectクラスタ内の2つのノードの追加設定を実行してリカバリを完了します。

開始する前に

新しいDeployユーティリティインスタンスのメディエーターターゲットの名前を把握していることを確認します。2ノードクラスタのONTAP CLIにサインインでき、2つのノードのONTAP名を把握している必要があります。

タスク概要

2ノードクラスタが含まれていない場合でも、必要に応じて新しいDeploy仮想マシンに構成バックアップをリストアできます。リストア時に2ノードクラスタは再作成されないため、DeployのONTAP Selectオンラインドキュメントページから、メディエーターのiSCSIターゲットとメールボックスを新しいDeployユーティリティインスタンスに手動で追加する必要があります。2ノードクラスタにサインインでき、2つのノードのONTAP名を把握している必要があります。

回復手順の目標は、2ノードクラスタを正常なHAテイクオーバーおよびギブバック処理を実行できる健全な状態に復元することです。

手順

1. ONTAP Select Deployユーティリティの新しいインスタンスを準備します：
   a. 新しいDeployユーティリティ仮想マシンをインストールします。
   b. 必要に応じて、以前のバックアップから Deploy 構成を新しい仮想マシンにリストアします。

以前のバックアップを復元すると、新しい Deploy インスタンスには2ノードクラスタが含まれません。インストールおよび復元手順の詳細については、関連情報セクションを参照してください。

2. ONTAP Select 2ノードクラスタのONTAPコマンドラインインターフェイスにサインインします。
3. 高度な特権モードに入ります：

```
set adv
```

4. メディエーターのiSCSIターゲット名を取得します：

```
storage iscsi-initiator show -target-type mailbox
```

5. 新しいDeployユーティリティ仮想マシン上のオンラインドキュメントWebページにアクセスし、adminアカウントを使用してサインインしてください：

   `http://<ip_address>/api/ui`

   Deploy仮想マシンのIPアドレスを使用する必要があります。

6. *Mediator*を選択し、次に*GET /mediators*を選択します。
7. **Try it out!** を選択すると、Deploy が管理するメディエーターの一覧が表示されます。

   目的のメディエーターインスタンスのIDをメモしてください。

8. * Mediator * を選択してから * POST * を選択します。
9. mediator_idの値を指定してください。
10. `iscsi_target`の横にある*モデル*を選択し、名前の値を入力します。

    iqn_name パラメータにはターゲット名を使用してください。

11. **Try it out!** を選択して、メディエーターiSCSIターゲットを作成します。

    リクエストが成功した場合、HTTPステータスコード200が返されます。

12. 新しい Deploy 仮想マシンの IP アドレスが元の Deploy 仮想マシンと異なる場合は、 ONTAP CLI を使用して古いメディエーター iSCSI ターゲットを削除し、新しいターゲットを追加する必要があります：

```
storage iscsi-initiator remove-target -node * -target-type mailbox
```

```
storage iscsi-initiator add-target -node <node1_name> -label mediator
-target-type mailbox -target-portal <ip_address> -target-name <target>
```

```
storage iscsi-initiator add-target -node <node2_name> -label mediator-
```

```
target-type mailbox -target-portal <ip_address> -target-name <target>
```

`<ip_address>`パラメータは、新しいDeploy仮想マシンのIPアドレスです。

これらのコマンドにより、ONTAP Selectノードは新しいDeployユーティリティ仮想マシン上のメールボックスディスクを検出できます。

13. メディエーターディスクの名前を特定します：

```
disk show -container-type mediator
```

14. メールボックスディスクを2つのノードに割り当てます。

```
disk assign -disk <mediator-disk1-name> -owner <node1-name>

disk assign -disk <mediator-disk2-name> -owner <node2-name>
```

15. ストレージ フェイルオーバーが有効になっていることを確認します。

```
storage failover show
```

終了後の操作

Capacity Poolsライセンスを使用している場合は、各Capacity Poolライセンスを再インストールしてください。詳細については、"容量プールライセンスを再インストールする"を参照してください。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。